

佐野市景況レポート

令和6年4～6月期



佐野商工会議所
〒327-0027 佐野市大和町 2687-1
TEL 0283 (22) 5511 FAX 0283 (22) 5517
HP <https://www.sanocci.or.jp>
E-mail s-cci@sanocci.or.jp
調査協力：佐野市あそ商工会

《 概 況 》

円安の原因は、日米の金利差だけでなく日本の国力低下？

【 令和6年4～6月期 実績 】

全業種業況DI指数は▲20.7、前期（3月期）比+3.7ポイントと、市内事業所の景況感は前回3月の調査からやや改善しました。

利益DI指数▲36.4（前期比▲6.5）、売上高DI指数▲20.4（前期比▲5.3）と利益DI指数、売上高DI指数ともに悪化しました。また、原材料・仕入価格DI指数は60.2（前期比+11.1）、販売価格DI指数は14.1（前期比+0.9）と、原材料・仕入価格指数は上昇し、販売価格指数は横ばいであり、交易条件（販売価格指数－仕入価格指数）は悪化しました。

利益・売上指数と交易条件が悪化したが、業況指数が改善する説明のつかない状況です。

【 令和6年7～9月期 見通し 】

3カ月先の全業種業況DI指数は▲20.3（前期比▲0.1）と、前期並みの業況を予想しています。売上高DI指数▲18.2（前期比▲3.7）、原材料・仕入価格指数51.6（前期比+13.1）、販売価格指数10.7（前期比▲1.5）と、前期予想に比べ、売上高指数は低下し、原材料・仕入価格指数は大幅上昇、販売価格はやや下落する交易条件の悪化を予想しています。

【 事業所等の景況コメント他 】

事業所等の景況コメントには、前期と同様に、円安等による原材料・仕入価格の上昇と人材不足に関するコメントが多く寄せられました。

円安の影響調査をみると、円安によって悪影響を受ける事業所は全体の60%を占め、メリットを受ける事業所は3%に留まることから、円安は地域経済にとってマイナスと言えます。特に、原材料・仕入価格及び燃料価格の上昇は事業所に深刻な影響を与えています。

〔佐野市内における業況天気図〕

	実 績 (令和6年4～6月期)		見通し (令和6年7～9月期)	
業 況	▲20.7		▲20.3	
売 上 高	▲20.4		▲18.2	
販 売 価 格	14.1		10.7	
仕 入 価 格	60.2		51.6	
労 働 力	▲24.3		—	—

* 天気図の説明
(数字はDI値)
・ 仕入価格、販売経費、在庫はDI値をマイナス評価

晴れ	薄日	曇り	小雨	雨
26以上	11～25	10～▲10	▲11～▲25	▲26以下

調査協力：OKコンサルティング 代表 岡野 清（中小企業診断士）

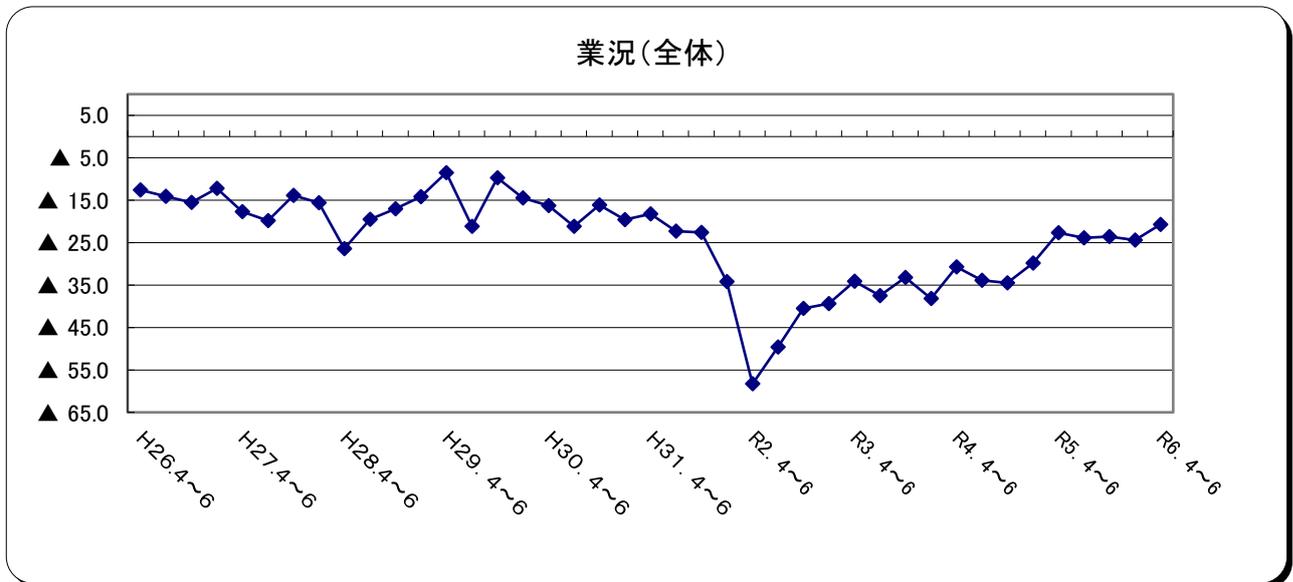
☆ 業況について（令和6年4～6月期実績）



全業種DI指数▲20.7、前期比3.7ポイント上昇
業種別DI指数（上位5業種）

- ①設備業13.6ポイント、②機械・金属製造業0.0ポイント、③建設業▲3.3ポイント、
- ④その他の製造業▲8.1ポイント、⑤食品製造業▲17.6ポイント

良い
↑
悪い



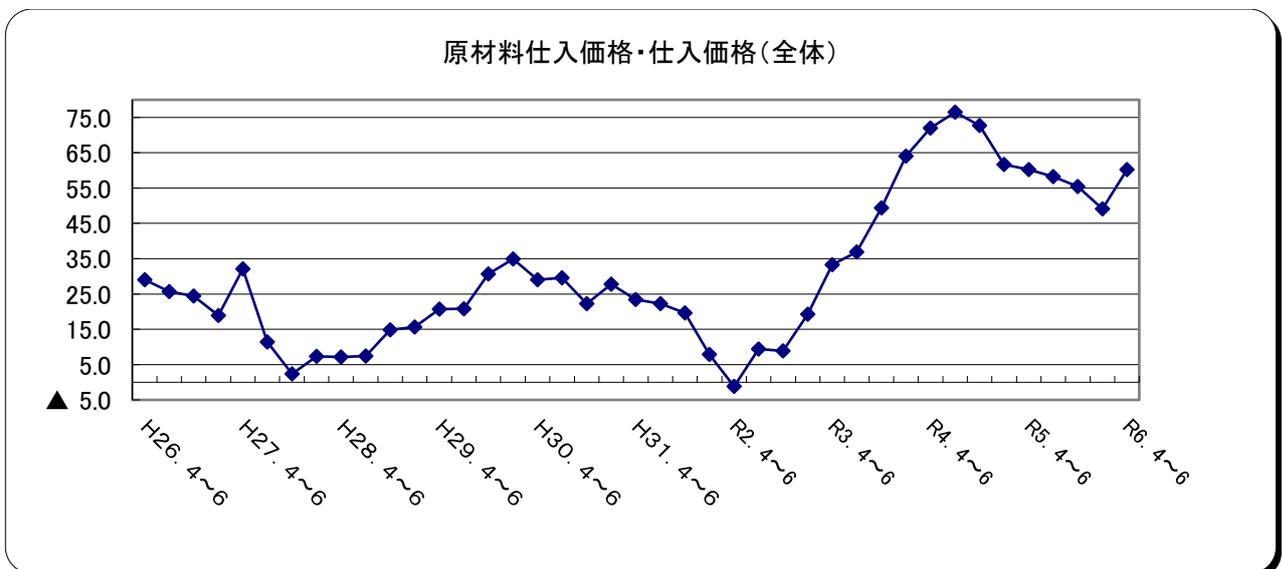
☆ 原材料仕入価格・仕入価格について（令和6年4～6月期実績）



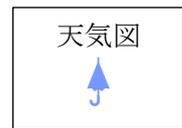
全業種DI指数60.2、前期比11.1ポイント上昇
業種別DI指数（上位5業種）

- ①飲食店100.0ポイント、②卸売業78.9ポイント、③食品製造業73.3ポイント、④建設業、設備業69.2ポイント、⑤化学・プラスチック製造業60.0ポイント

上昇
↑
下落



☆ 売上高について（令和6年4～6月期実績）



全業種DI指数▲20.4、前期比▲5.3ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①食品製造業 0.0ポイント、②設備業▲7.3ポイント、③その他の製造業▲8.6ポイント、④サービス業▲15.4ポイント、⑤機械・金属製造業、飲食店▲18.2ポイント

増加
↑
減少
↓



☆ 受注販売価格・商品販売価格について（令和6年4～6月期実績）



全業種DI指数 14.1、前期比 0.9ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①その他の製造業 33.3ポイント、②建設業 27.3ポイント、③卸売業、その他の小売業（大型店含む）20.0ポイント、④食品製造業 17.0ポイント、⑤小売業（飲・食料品）16.4ポイント

上昇
↑
下落
↓



☆ 製品（材料）在庫・商品在庫について（令和6年4～6月期実績）

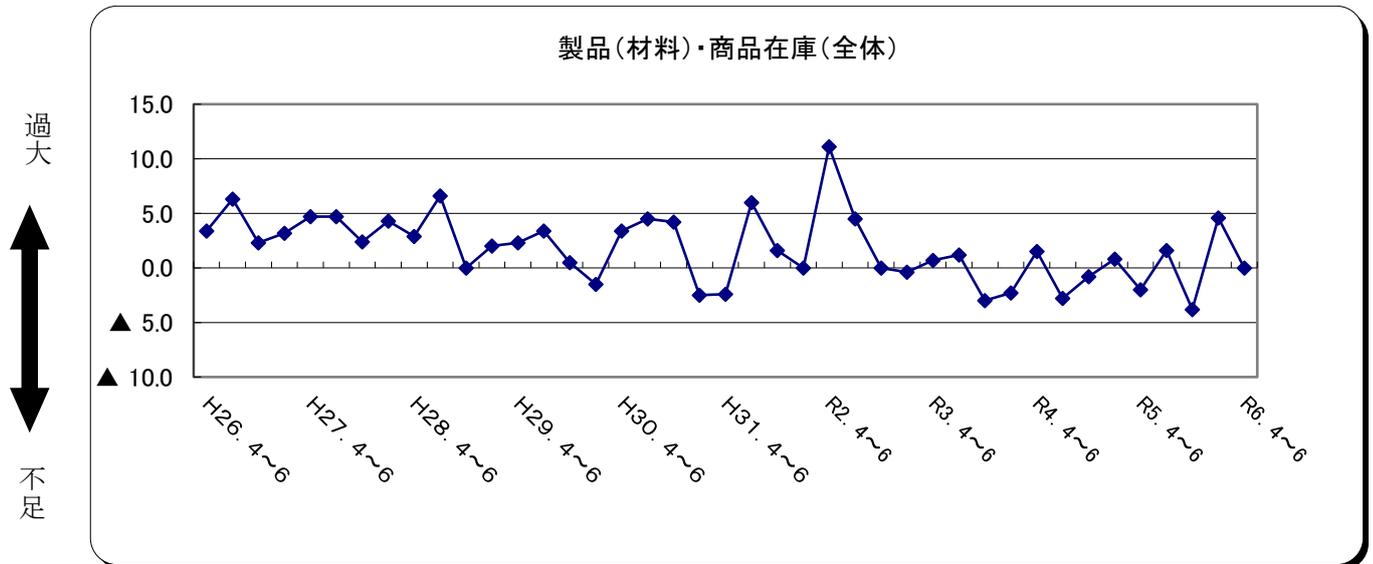
天気図



全業種DI指数0.0、前期比▲4.6ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①化学・プラスチック製造業 9.7ポイント、②その他の小売業(大型店含む)9.4ポイント、
- ③小売業(飲・食料品)5.1ポイント、④機械・金属製造業 4.2ポイント、⑤建設業 3.2ポイント



☆ 利益状況について（令和6年4～6月期実績）

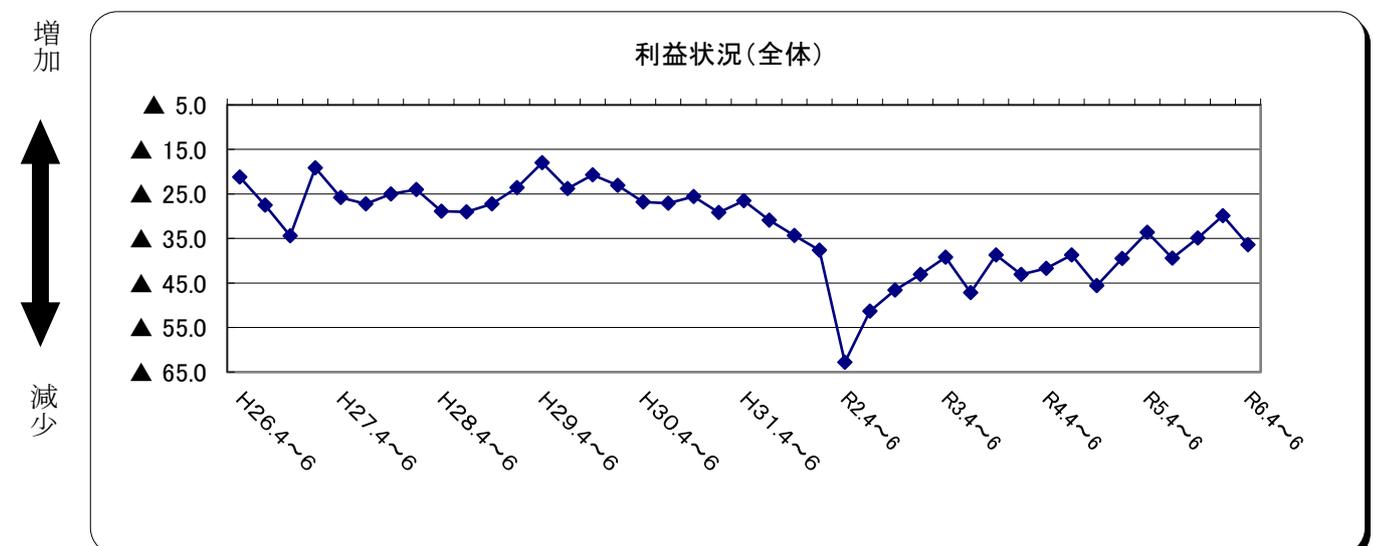
天気図



全業種DI指数▲36.4、前期比▲6.5ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①機械・金属製造業▲13.0ポイント、②その他の製造業▲16.7ポイント、③設備業▲22.0ポイント、④繊維品製造業▲23.1ポイント、⑤食品製造業▲25.0ポイント



☆ 資金繰りについて (令和6年4~6月期実績)

天気図

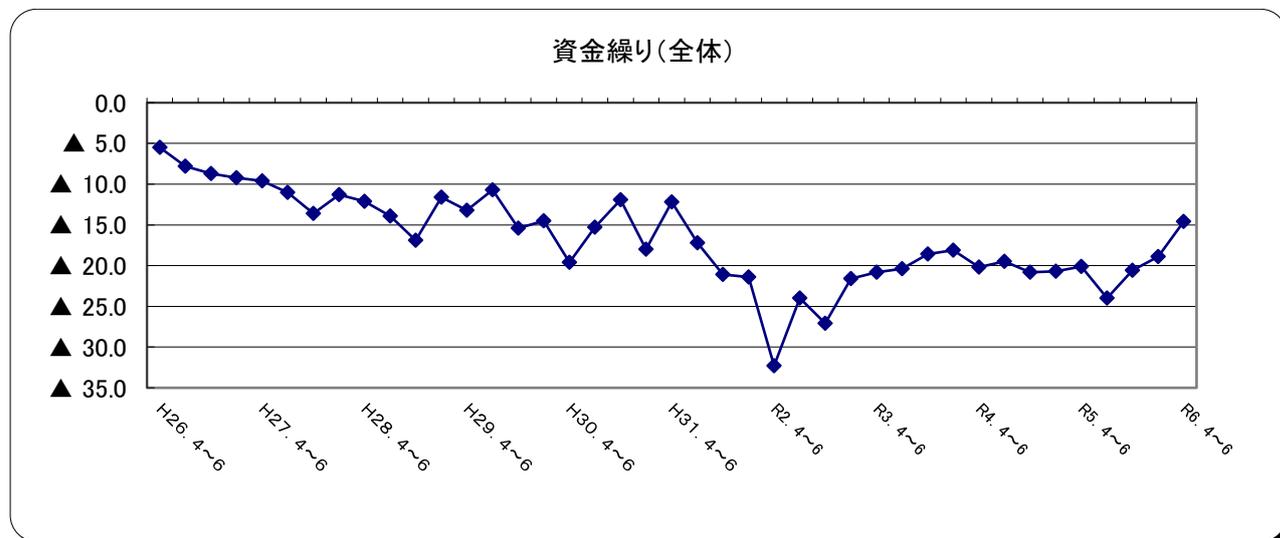


全業種DI指数▲14.6、前期比4.3ポイント上昇

業種別DI指数(上位5業種)

- ①卸売業 0.0ポイント、②建設業▲3.3ポイント、③食品製造業▲5.7ポイント、④その他の製造業▲7.7ポイント、⑤機械・金属製造業▲8.3ポイント

楽
↑
↓
苦しい



☆ 労働力について (令和6年4~6月期実績)

天気図

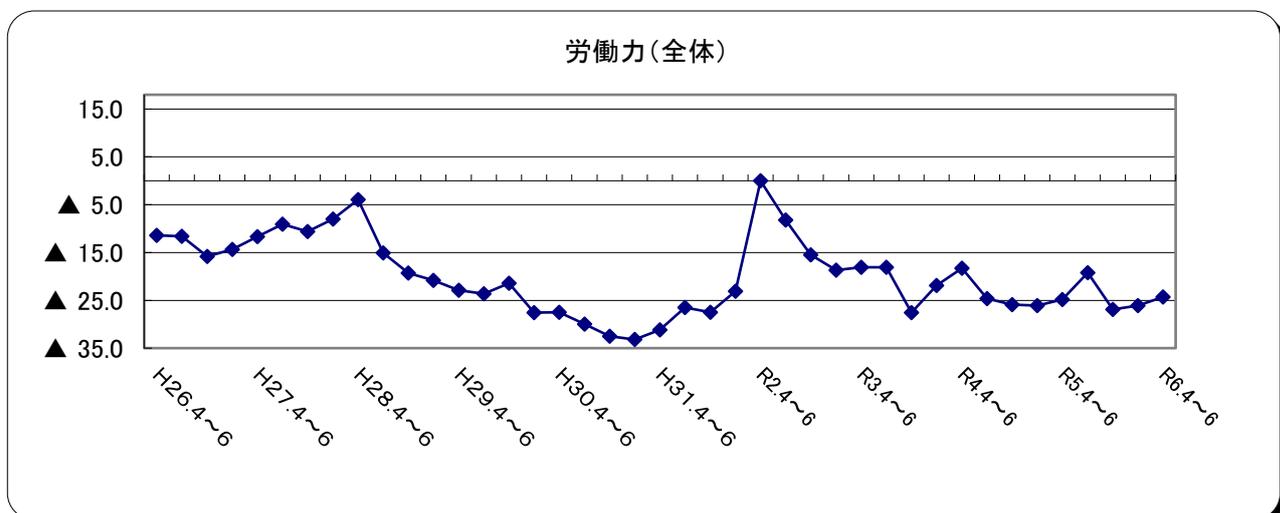


全業種DI指数▲24.3、前期比1.8ポイント上昇

業種別DI指数(上位5業種)

- ①小売業(飲・食料品)17.0ポイント、②卸売業 0.0ポイント、③繊維品製造業▲12.0ポイント、④その他の製造業▲15.8ポイント、⑤化学・プラスチック製造業▲17.6ポイント

過剰
↑
↓
不足



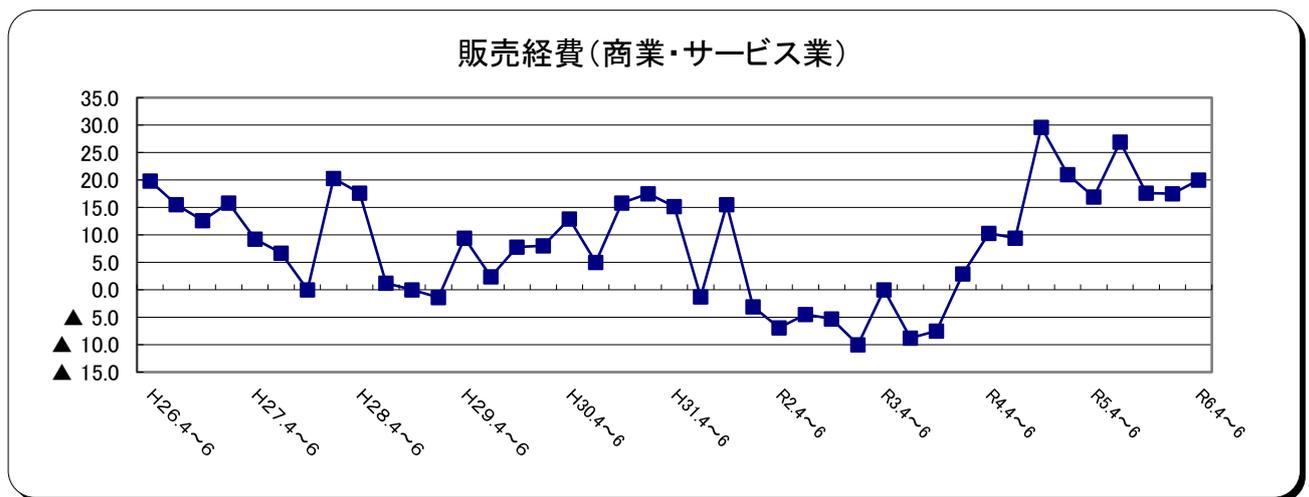
☆ 設備稼働率について (令和6年4~6月期実績)
(建設・設備・製造業関係)



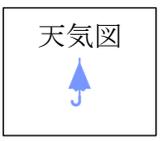
全業種DI指数▲14.0、前期比0.0ポイント
業種別DI指数(上位5業種)

- ①設備業▲6.7ポイント、②その他の製造業▲8.1ポイント、③食品製造業▲17.0ポイント、④機械・金属製造業▲21.1ポイント、⑤建設業▲24.1ポイント

高い
↑
低い



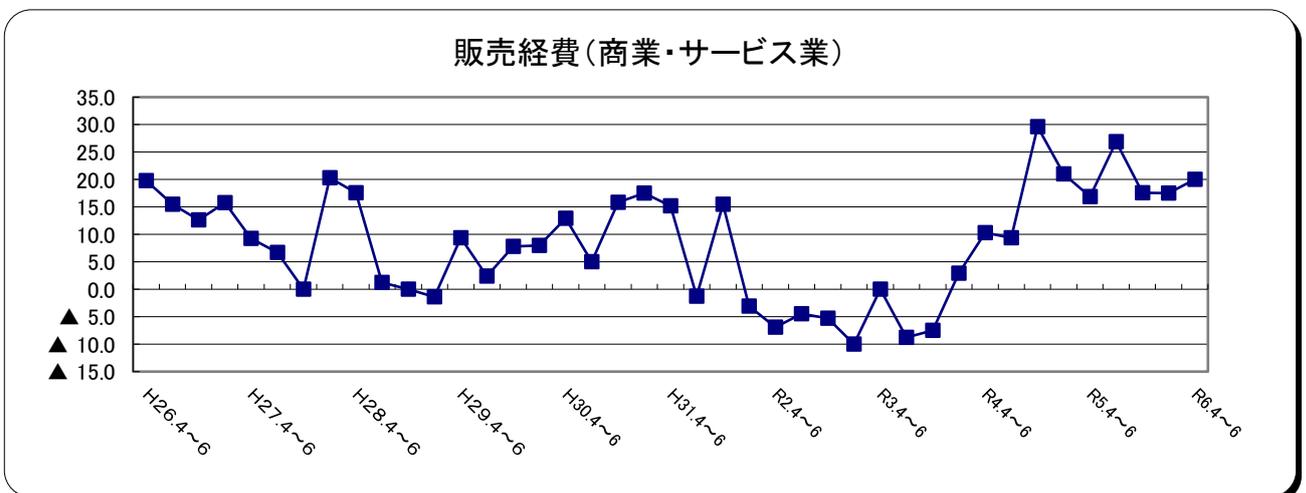
☆ 販売経費について (令和6年4~6月期実績)
(商業・サービス業関係)



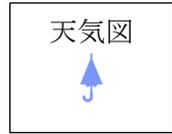
全業種DI指数20.0、前期比2.5ポイント上昇
業種別DI指数(上位5業種)

- ①その他の小売業(大型店含む)30.0ポイント、②飲食店23.8ポイント、③サービス業18.5ポイント、④小売業(飲・食料品)17.0ポイント、⑤卸売業7.0ポイント

増加
↑
減少



☆ 今後3ヶ月先（令和6年7～9月期の見通し）の業況について



全業種DI指数▲20.3、前期比▲0.1ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①設備業 13.6ポイント、②その他の製造業 0.0ポイント、③建設業▲10.3ポイント、
- ④食品製造業▲17.6ポイント、⑤化学・プラスチック製造業▲22.0ポイント

良い
↑
悪い



☆ 今後3ヶ月先（令和6年7～9月期の見通し）の売上高について

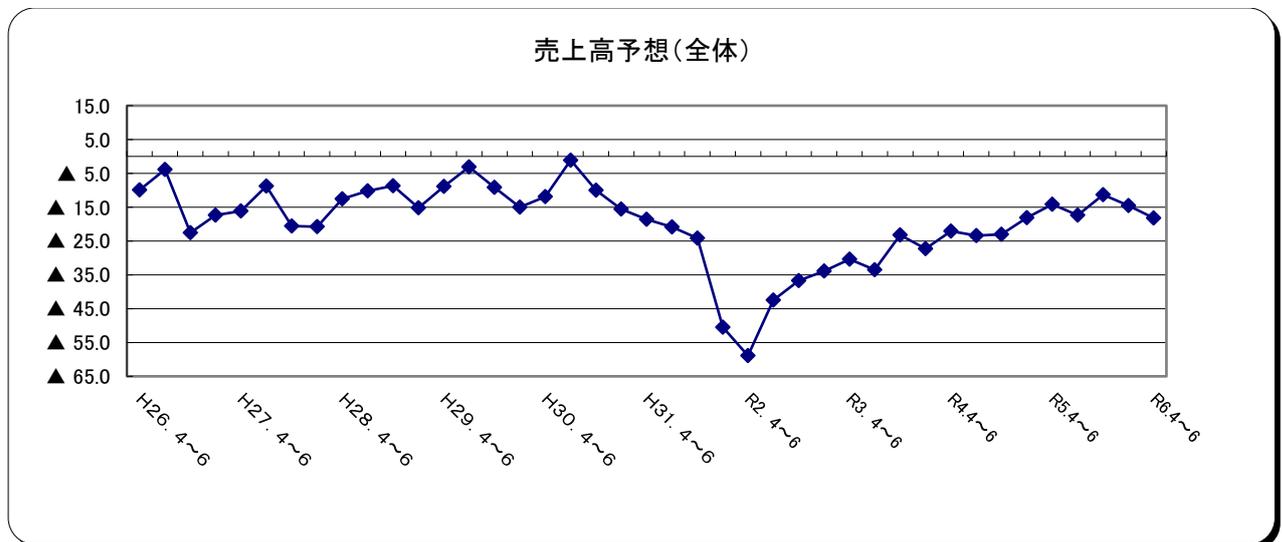


全業種DI指数▲18.2、前期比▲3.7ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①設備業 7.0ポイント、②その他の製造業 0.0ポイント、③飲食店▲4.5ポイント、④
- 化学・プラスチック製造業▲10.6ポイント、⑤繊維品製造業▲11.1ポイント

良い
↑
悪い



☆ 今後3ヶ月先（令和6年7～9月期の見通し）の原材料仕入価格・仕入価格について



全業種DI指数 51.6、前期比 13.1ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ①飲食店 92.7ポイント、②建設業、設備業 69.2ポイント、③繊維品製造業 65.2ポイント、④食品製造業 57.4ポイント、⑤小売業（飲・食料品）52.9ポイント

上昇
↓
下落



☆ 今後3ヶ月先（令和6年7～9月期の見通し）の受注販売価格・商品販売価格について



全業種DI指数 10.7、前期比▲1.5ポイント低下

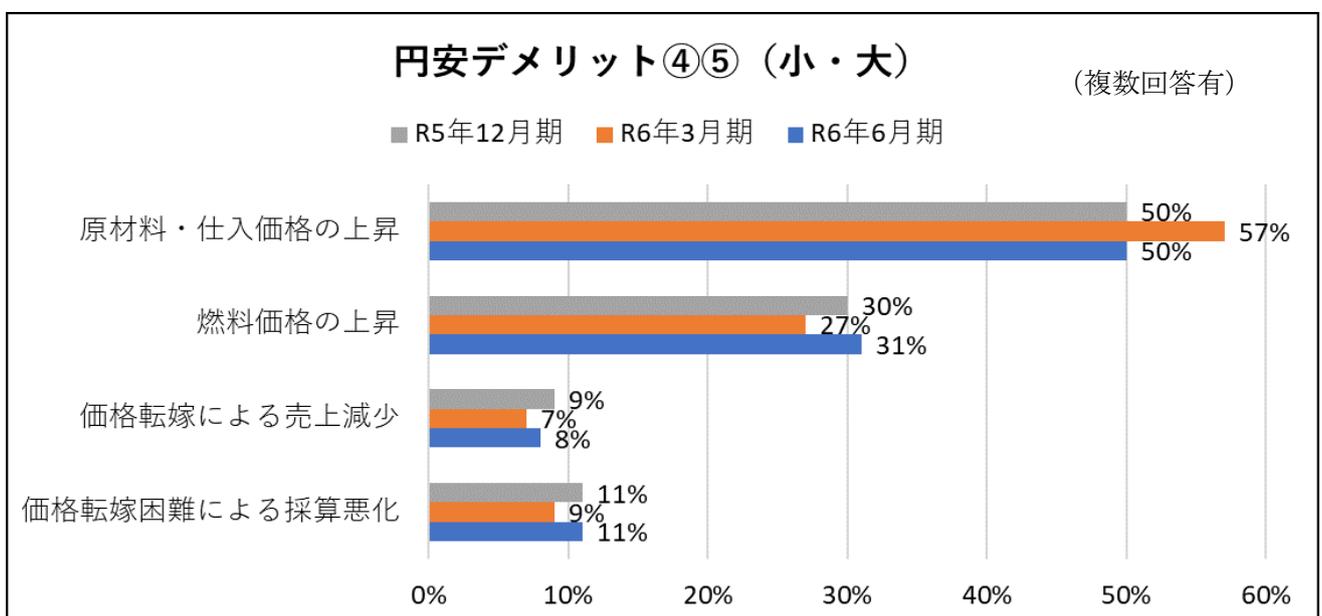
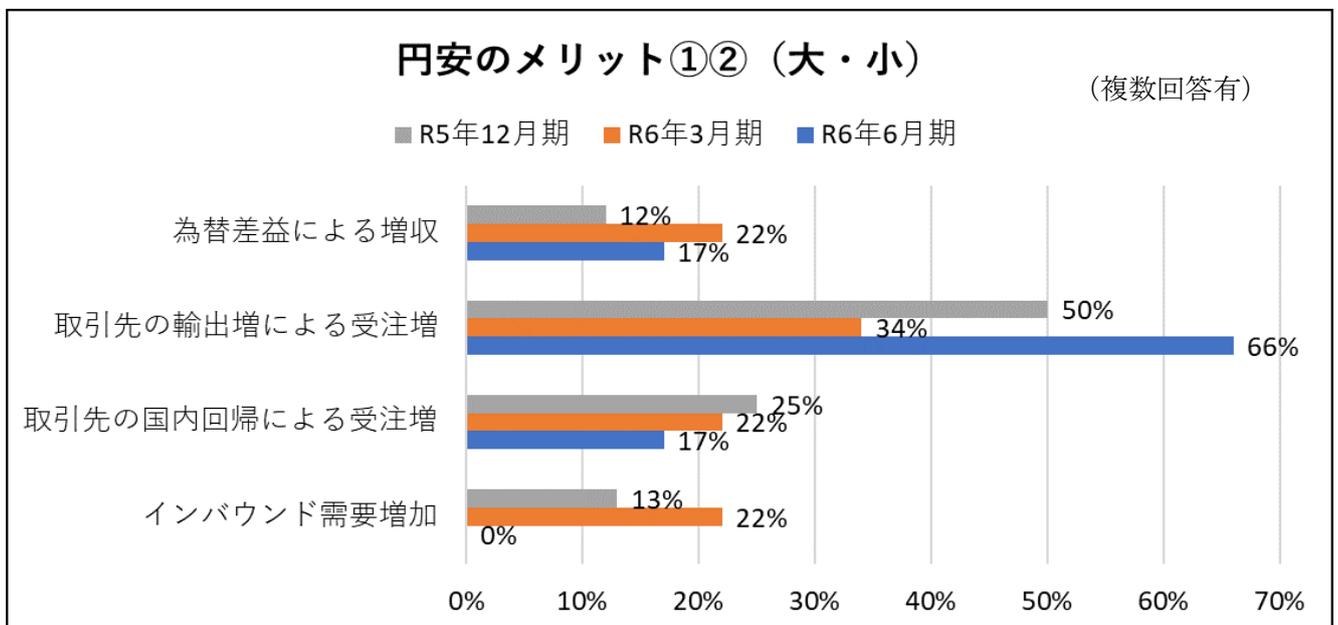
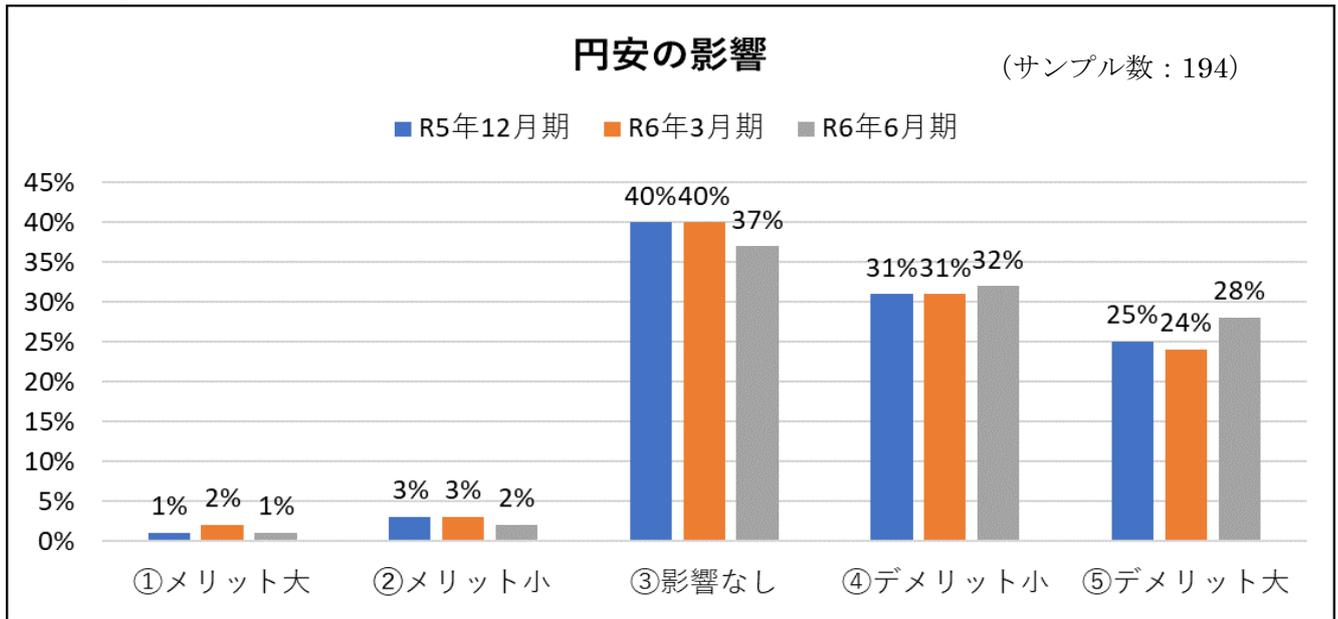
業種別DI指数（上位5業種）

- ①その他の製造業 24.3ポイント、②サービス業 18.1ポイント、③小売業（飲・食料品）15.8ポイント、④その他の小売業（大型店含む）14.8ポイント、⑤機械・金属製造業 12.7ポイント

上昇
↓
下落



☆ 円安の影響調査



☆ 市内各事業所からの景況に関するコメント ☆

※景況調査にご協力いただきました事業所のうち、「景況に対するコメント欄」にご記入いただいた内容を、そのまま掲載しております。

建設業

- ・いまの状況だとよくない。
- ・当社の事業内容の広報をしていく必要があると考えており、その為の情報発信をしていきたい。
- ・ハウスメーカーの値引きが多くたいへんです。
- ・仕事の受注は増加の方向ですが、人員不足によりパンク状態が続いている。
- ・仕入価格の上昇によりすべてに影響している。
- ・物価高により仕入価格が上がっている。
- ・従業員不足。

設備工事業

- ・年々 材料、資材、人件費の高騰であるが、利益は現状維持という悪循環である。
- ・働き方改革の対応(時間外労働上限規制による代休及び振替休日=人手不足)衛生器具をはじめ、住宅設備機器等の値上げが控えている(8月～)

繊維品製造業

- ・なかなか景況が回復できません。コロナの影響が大きいです。
- ・電気代の補助金やったりやめたりは何とか一方に決めてほしい。
- ・景況回復も当面難しい予測。
- ・円安による原材料高でかなり厳しい。なかなか価格に転嫁できないため。

食品製造業

- ・円安の対策が現在出来ない。
- ・人材不足というか、パートさんを募集してもなかなか来てくれません。非常にシビアな問題です。
- ・国民が潤う政策を取らない現政権では日本は発展しない。自分の懐と経団連の企業が潤う政策ばかりでガッカリです。茂木敏光氏は次期総理を狙っているようですが、ぜひとも国民が潤う政策を打ち出して頂きたい。
- ・原資材の価格上昇が落ちつく様子がみえず、コロナ禍よりも不安が大きい。

機械・金属製品製造業

- ・車業界の不正が続いている為、設備投資しないので受注がない。
- ・購入する全ての材料、人件費が高騰している。販売価格に転嫁しにくい状況が続いています。

化学・プラスチック製品製造業

- ・プラスチック業界全体が悪いように感じる。需要が低迷している。
- ・原材料の価格上昇が利益減少につながっている。販売価格に増加分を乗せられない。
- ・いろいろな仕事をしていますので、(運輸、加工(ポリエチレン)、防災関係、倉庫業)すべて円安でこまっています すべて。
- ・原材料の仕入価格が昨年より幾度かに値上げがあった。ガソリン価格が上がっているので運賃も上がっている。
- ・原材料の高止まりが続いている状況。
- ・¥110/US\$ くらいの時代がなつかしい? とにかく円安をなんとかしろ!!と政府に言いたい!!
- ・受注が安定しません。

その他製造業

- ・相変わらず円安による仕入価格の上昇、その他あらゆる物の物価上昇でどうしようもないです。半分あきらめてますけど。

卸売業

- ・今年に入ってよりずっと建売物件、新築物件が減少。
- ・公官庁の予算不足で販売数量の減少。
- ・先行きが不透明です。
- ・2024 年物流問題の影響が予想以上に大きそうです。政府は現場を把握し、早急に対応してほしい。
- ・販売価格に転嫁できず厳しい。

小売業（飲・食料品）

- ・暑くなると少しいそがしいです。
- ・いつまでたっても景気良くなりません。
- ・何か問題が起こった際に、いつもの確に対応していただき助かります。ありがとうございます。
- ・小量生産、小景販売なので売上状況を見ながら生産しています。在庫や人員は適正です。暑い夏は売上減少が続きます。

その他の小売業（大型店含む）

- ・客数が非常に少なくなっております。
- ・客数減少、集客に苦戦。
- ・円安の為仕入価格が上り、価格転嫁が半分ぐらいしか出来ない。
- ・人通りがない。先行きが不安？
- ・コロナ中の売上げは良好であった。
- ・個客は現状維持ですが、購売客の減少。
- ・ドラッグストアの増加により、日用品の売上が減少傾向。

飲食店

- ・人手不足により営業時間・日数が減少していてつらい。
- ・引き続き仕入や経費の上昇が続いている状況です。
- ・円安のため九州の高品質のふぐ(天然物)が中国に買われてしまう。のでシーズン中は品薄で高価格になってしまいます。
- ・給料が上がらない、物価様々な値上げーありますが、暗い話題ばかりでなく来月から始まるプレミアム商品券に多いに期待しています！
- ・長引く円安のせいか客が減少。運営状況がとても悪く厳しいです。すべてにおいて価格上昇の為すぐ価格転嫁が難しい、又人材確保が大変である。
- ・今年の 11~12 月ごろ新店オープンです。宜しくお願いします。そろそろ工事はじまります。
- ・コロナでもどりつつある状況で仕入価格の高騰により値上げせざることになり売上げも伸びなやんでいます。相変わらず昼は動きますが、夜はさっぱりです。
- ・徐々にお客様は戻って来ているが人件費、原材料、仕入価格、光熱費の上昇によりよくない!!
- ・皆様にはいつも心配を程き感謝致します。
- ・物価高騰や電気、ガス等の値上げなど、これからの事業にとって良いことは全くない！時代の流れに取り残されない様に努力していくことでいっぱい입니다。
- ・サービス業では、高級路線とそれ以外とで、二分化している気がします。
- ・なかなか仕入が高くなった分売値の値上げがむずかしい(他店も現状の為)
- ・円安だめ。
- ・コロナ以後、会食の客数の減少がみられ、売上の減少につながっているようです。
- ・アルバイトを募集してもあつまりません。時給も上げているのですが…。

- ・仕入価格が日々上昇しているように感じます。メニュー価格が GS のように価格変動で
きないでしょうか。
- ・アルバイト不足。
- ・少しだけ、お客様がもどってきたように感じます。
- ・エネルギーコストの値上げが気がかりです。
- ・円安により、さまざまな商材が値上がりして困っております。
- ・小規模事業者にとって、為替(円安)はデメリットしかないように感じます。

サービス業

- ・価格改定した効果が 10 月以降でてくる予定ですが、市場(ウエディング)の冷え込みが
はげしく、まだまだ苦戦を想定。
- ・イベント等動き出したが、集客面の不安が残る。
- ・外国人宿泊客が少ない為、メリットは少ないが円安による電気料金などの上昇の方が大
きく影響すると思う。お盆の宿泊状況がよいため(予約ほとんどいっぱい)8 月売上上昇。
- ・実質増税がきになる。
- ・仕事の依頼は多いが人手が不足しているため納期に間に合わない事が多い。
- ・コロナも落ちついて売上も順調に伸びています。

佐野市景況調査 要項

- 1 調査時期 令和6年4月～6月
- 2 調査業種 佐野市内に本支店を有する建設業・製造業・商業・サービス業・飲食店など290社（内訳：佐野商工会議所地区（旧佐野市）200社、佐野市あそ商工会地区（旧田沼町・旧葛生町）90社）を対象として実施し、194社（回答率66.8%）から回答がありましたものを取りまとめたものです。

(1) 建設業

① 建設業	25社
② 設備工事業	21社

(2) 製造業

① 繊維品製造業	22社
② 食品製造業	18社
③ 機械・金属製品製造業	40社
④ 化学・プラスチック製品製造業	36社
⑤ その他の製造業	22社

(3) 商業・サービス業

① 卸売業	15社
② 小売業（飲・食料品）	23社
③ その他の小売業（大型店含む）	27社
④ 飲食店	19社
⑤ サービス業	22社

3 分析方法[景況動向指数（DI）による]

景況指数は、好況・不況の差を指数にしたものであり、基準指数が「0」で上限限度は、+100・-100となり、プラスは景況の好転、マイナスは景況の悪化をあらわしている。

DI方式は、
$$\frac{3x - 3z}{3x + 4y + 3z} \times 100$$
により算出

x：「良い」「増加」「騰貴」「過多」等の回答企業数

y：「普通」「ほぼ同様」「適正」の回答企業数

z：「悪い」「減少」「下落」「不足」等の回答企業数

- 4 主 管 佐野商工会議所
- 5 調査協力 佐野市あそ商工会
- 6 お問合先 佐野商工会議所経営支援課 TEL（代表）0283-22-5511



佐野商工会議所